第 56 回東村研修会

~初めての島民(しまんちゅ)体験~

★実施報告★

日 時: 2010年11月29日(月)~12月4日(土)5泊6日

開催地: 沖縄県 東村、うるま市

参加者: 留学生 44 名



小学生とマングローブ植樹体験!



美ら海水族館も行きました♪



月日	時間	日程
	10:30	羽田空港発(ANA125)
11/29	13:20	那覇空港着
(月)	16:30	ホテル着
	17:00	美ら海水族館 自由見学
11/30	10:00	東村 入村式
(火)		東村民家ホームステイ体験
12/01	終日	東村民家ホームステイ体験
(水)	ボミロ	米型民体が一口スプイ体験
	08:30	東村 離村式
	10:30	うるま市着
12/02		マングローブ植樹体験&
(木)	14:00	高江洲小学校交流会
	15:00	ホテル着
		自由研修
12/03	終日	自由研修日
(金)	W. C	
	09:30	首里城 自由見学
12/04	10:30	国際通り 自由散策
(土)	14:30	那覇空港発(ANA128)
	16:45	羽田空港着 解散







参加学生の皆さんには課題として下記の3項目について感想文を書いて頂きました。

- ① 研修会の中で一番印象に残ったこと
- ② 『マングローブ植樹体験&地元小学校交流』をして感じたこと
- ③ ホストファミリーへの手紙

※この感想文は学生の文章をそのまま掲載しています (2名抜粋)

Őlushko Anna (ロシア) 国士舘大学

- ① 今日、池原憲勇さんの家に引っ越しました。東村というホームスティの所でどこでもパイナップルがあります。とても驚きました。また、海に行きました。今日天気が悪かった、残念でしたけど、海がとてもきれいでした。東村で一つ信号がある、二つ店があります。初めて日本の家で一泊しました。池原憲勇さんの家はとても広くて、大きくて、伝統的なスタイルの家です。たくさん写真をとった、自分の家族と友達に見せたい。又面白いことをやりました。皆でパイナップルの日焼け帽子を作りました。楽しかったです。最後の日皆は貝で飾りを作りました、面白かったです。
- ② 12月2日小学校にいってマングローブ植樹しました。まず、小学校の生徒たちは美しいポスターを作ってマングローブ植樹のところで留学生たちを待っていました。マングローブ植樹の後で皆は小学校に行って生徒たちと美味しい昼食を食べました。一番印象に残ったことは生徒たちと一緒に踊ったダンスです。皆このダンス少し学んで踊りました。本当に楽しかったです。私と一緒にずっと居たまなかちゃんとゆうかちゃんによろしく!ありがとうございました。
- ③ 火曜日から木曜日まで池原憲勇さんの家で止まりました。お父さんとお母さんはとても親切で優しかったです。お父さんは東村の辺と紹介してくれてありがとうございました!お母さんはいつも美味しい食事ありがとうございました!二日のホームスティでたくさん新しくて面白いものを知りました。初めてパイナップルの葉ときれい海を見て、パイナップルの帽子を作って、たくさんおいしい食べ物を食べて沖縄の習慣を知りました。お父さんお母さん、私たちと一緒に過ごした日ありがとうございました。

呉 佳親 (台湾) 外語ビジネス専門学校

- ① 美ら海水族館:水族館が大好きで、東京の水族館も行ったことはありますが、そんなデカイマンタを見たことはなかった。びっくり!沖縄やんばる海水揚水発電所:沖縄への考え方がその設備に徹底に変えられてしまった。「すご~い」だけ言えなかった。10年もたって320億もかかって、根性最高。台湾に似ているところ:植物、文化、人々の考え方などは台湾とそっくり!沖縄は台湾以外次の居場所かもしれないと思う。
- ② 私を接していた子供は伊禮優花という子だった。礼儀正しくて、かわいくて、言われずに手つたって、びっくりするほどいい子だった。優花だけでなく、ほとんどの子供達がそうだった。その小学校の教育方針が本当に実行されているだろう。あのイランからの留学生が言っていたとおり、子供達が本当に天使だった。先生方もすごかった。子供達に深く信頼されること。
- ③ 夢蘭を離れたあの日に、ほかの友達にホームスティーのことを聞いたところ、お母さんとお父さんが 私達を本当に大切に扱っていたことがわかった。最初に会ったあの日に、お母さんに手をつかまれた あたたかさを絶対に忘れないのだ。いつも私達の食事の心配して、「足りないかな~」とよく思ってい ただろう。実は、大変充分だったのだよ!毎日ご馳走をもらったり、一杯おもしろい話をしたりして、 夢のようにすごしていた。さすが、「夢」蘭だよね~名に負けずすできな店だ!いいえ、家だ!お母さ んとお父さんが大好き♡また会おうね~絶対!

課題作文は当財団出版物「アジア文流 Vol.29」(2011 年 4 月発行予定)に掲載予定です。